

令和 3 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 高等学校 保健体育

1 次の文章を読んで (1) ~ (3) の問いに答えよ。

病原体がほかの人や動物などからその人の体のなかに入り、それが体内で増えることで起こる病気を感染症といいます。消毒や殺菌などにより、(A) 病原体がなくなれば感染症は起きません。

また、病原体をなくせなくても (B) 体に入らないよう工夫することによっても感染は防止できます。

私たちの体のなかには、ほとんどの病原体に対して対抗できるだけの力が備わっています。このようなしくみの 1 つに (C) 免疫があります。感染症にかからないように、あるいは、早く治るためには、このしくみを最大限発揮させることが有効です。

また、エイズや<sup>ノ</sup>0157 による (ア) などのように、新たに注目されるようになった感染症は新興感染症と呼ばれています。

新興感染症は、診断や (イ) の方法が確立していないために適切な医療行為が困難です。

現在では、航空機などの交通網が世界中に整備され、(ウ) な流行が瞬く間に全世界に広がるため昔よりも侵入防止対策が難しくなっています。

感染症は、人から人へと広がっていき、社会全体を巻き込んでいくものなので、対応も社会的におこなうことが求められます。(エ) を充実させ、感染を防ぐ安全な環境を維持すること、(オ) により国内への侵入を未然に防ぐこと、予防接種の普及により流行を起りにくくすること、さらに、それらにかかわる適切な情報発信をして注意を促すことなども社会のしくみとして重要です。

- (1) 下線部(A), (B)は感染症予防の原則である。それぞれの対策名を記せ。
- (2) 下線部(C)について、説明せよ。
- (3) (ア) ~ (オ) にあてはまることばをそれぞれを記せ。

2 次の (1) ~ (4) の問いに答えよ。

- (1) サッカーでコーナーキックとなる場合の状況を記せ。
- (2) 6人制バレーボールでバックプレイヤーの反則を2つ記せ。
- (3) 剣道の「残心」について説明せよ。
- (4) 「新体力テスト実施要項(12歳~19歳対象, スポーツ庁) IIテスト項目 ハンドボール投げ 2方法」に示されている内容を3つ、記せ。

3 次の (1), (2) の問いに答えよ。

- (1) テニスの授業で、コースをねらってサービスを打つ練習の方法を説明せよ。
- (2) マット運動の授業で、回転系の接転技群を指導する際の技能のポイントを2つ記せ。

4 高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編（平成 21 年 12 月）「第 1 部 第 2 章 各科目」について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

- (1) 「第 2 節 保健 3 内容（3）社会生活と健康 ア 環境と健康 (ア)環境の汚染と健康」において、「理解できるようにする」とされている指導内容は何か、記せ。
- (2) 「第 1 節 体育 3 内容 H 体育理論 3 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ウ スポーツ振興のための施策と諸条件」では、「国や地方自治体は、スポーツ振興のために、様々な施策や条件整備を行っていること等を理解できるようにする。」と示されているが、その際「触れるようにする」とされている指導内容は何か、記せ。
- (3) 「第 1 節 体育 3 内容 G ダンス 3 知識, 思考・判断 ○思考・判断」について、入学年次の例示を 2 つ記せ。

5 次は、高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編（平成 21 年 12 月）「第 1 部 第 2 章 各科目 4 内容の取扱い」の一部である。（①）～（⑥）にあてはまることばを下のア～シからそれぞれ選び、記号で記せ。

(5) 集合，（①），列の増減，（②）などの行動の仕方を身に付け，能率的で安全な集団としての行動ができるようにするための指導については，内容の「A 体づくり運動」から「G ダンス」までの領域において適切に行うものとする。

集団として必要な行動の仕方を身に付け，能率的で安全な集団としての行動ができるようにすることは，運動の学習においても大切なことである。

集団としての行動については，運動の学習に（③）を取り扱うようにし，体づくり運動からダンスまでの各運動に関する（④）の学習との関連を図って適切に行うこととした。

なお，集団行動の指導の効果を上げるためには，（⑤）だけでなく，（⑥）において指導するよう配慮する必要がある。

ア 社会教育活動全体	イ 領域	ウ 整理
エ 学校の教育活動全体	オ 特定	カ 整頓
キ 直接必要なもの	ク 特別活動	ケ 保健体育科
コ 間接的に必要なもの	サ 方向変換	シ 隊列移動

6 評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 保健体育）（平成 24 年 3 月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター）について，次の（1），（2）の問いに答えよ。

- (1) 体育において観点別学習評価を実施するにあたり，4 観点で評価しないとされている領域は何か，2 つ記せ。
- (2) 学習評価の妥当性，信頼性等を高めるためには，どのような取組が有効であるとされているか，2 つ記せ。

- 7 次は, 高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編 (平成 21 年 12 月) 「第 1 部 第 3 章 第 3 節 部活動の意義と留意点等」の一部である。( 1 ), ( 2 ) の問いに答えよ。

<運動部の活動>

運動部の活動は, スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒が, より高い水準の技能や記録に ( ① ) する中で, スポーツの ( ② ) や ( ③ ) を味わい, 豊かな学校生活を経験する活動であるとともに, ( ④ ) の向上や ( ⑤ ) の増進にも極めて効果的な活動である。

したがって, 生徒が運動部の活動に ( ⑥ ) に参加できるよう配慮することが大切である。また, 生徒の能力等に応じた技能や記録の向上を目指すとともに, 互いに ( ⑦ ) し合って ( ⑧ ) を深めるなど好ましい ( ⑨ ) を育てるよう適切な指導を行う必要がある。

運動部の活動は, 主として ( ⑩ ) に行われ, 特に ( ⑪ ) する同好の生徒によって行われる活動であることから, 生徒の ( ⑫ ) を尊重する必要がある。また, 生徒に任せすぎたり, ( ⑬ ) ことのみを目指したりした活動にならないよう留意する必要もある。このため, 運動部の活動の意義が十分発揮されるよう, 生徒の ( ⑭ ) の尊重と柔軟な運営に留意したり, 生徒のバランスのとれた生活や成長のためにも (A) 休養日や練習時間を適切に設定したりするなど, 生徒の能力・適性, 興味・関心等に応じつつ, 健康・ ( ⑮ ) に留意し適切な活動が行われるよう配慮して指導することが必要である。

- (1) ( ① ) ~ ( ⑮ ) にあてはまることばをそれぞれ記せ。  
 (2) 下線部(A)について, 「やまなし運動部活動ガイドライン (平成 30 年 3 月)」及び「やまなし文化部活動ガイドライン (令和元年 7 月)」では, 休養日及び活動時間について, どのように示されているか, 記せ。

- 8 次の (1) ~ (4) について, 説明せよ。

- (1) 健康水準  
 (2) 環境負荷  
 (3) 速筋線維  
 (4) トレーニングの負荷条件